



### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

##### 一. 【第1学年】…「高齢者福祉学習」

##### 【目標】

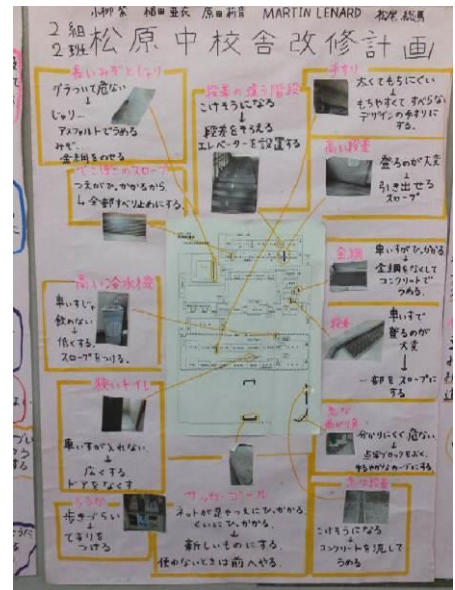
- 福祉施設での高齢者との交流や職員の方々からの指導を通して、思いやりのある接し方を学び、介護や福祉についての理解を深める。
- 絵本教室や高齢者疑似体験で学んだことを基に校内を点検し、校内の改修計画を立てることで、弱者の視点に立った街作りの視点を育てる。



〔福祉体験の活動の様子〕

##### 【取組】

- ①大牟田市の地域包括支援センターの方にGTとして講話をしていただき、認知症の学習および、老人介護のあり方・接し方・注意点を学んだ。
- ②高齢者介護福祉施設との事前打ち合わせを行い、2日間の介護福祉体験を行った。
- ③地域包括センターの方と認知症ライフサポート研究会の方に絵本教室を実施していただき、認知症の方の気持ちを思いやることを学んだ。
- ④さらに学習を深めるため、大牟田市の高齢者の現状を学習し、高齢者疑似体験やアイマスク体験、車いす体験を行った。
- ⑤校内を点検し、弱者の視点に立った松原中学校改修計画を作成した。



〔松原中改修計画〕

##### 【生徒の感想】

- 福祉施設体験は、1日目よりも2日目のほうがたくさんしゃべれたので、とても良かったです。みんな元気なお年寄りばかりでとても楽しかったです。
- アイマスクのサポートは階段をどう説明するのかなど状況を説明するのが難しかった。体験する時はどこにどんな障害物があるか分からず不安だった。
- 認知症は何でも忘れてしまうのではなくて、人への礼儀とか感謝、昔からやっていたことは忘れない。突然変なことをしても、昔していたことをしてるだけで、それを分かってあげられるようになりたい。



##### 【成果】

福祉施設体験では、プレゼントを作ったりゲームを考えたりする等、事前学習から熱心に取り組むことができた。その姿勢が、各施設で戸惑いながらも自分から高齢者の方に話しかけていこうとする態度に繋がり、生徒達は充実感を得ることができた。

## 二.【第2学年】…「地域探求学習」「国際理解学習」

### 【目標】

- 大牟田・荒尾の世界遺産や史跡を見学したり、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承する人々や産業・農業・漁業に関わる人を訪問したりして、地域の文化・歴史や大牟田の現状を知り、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題を改善する方法を考えたり、行動したりし、大牟田の未来についても興味関心を持って考えることができるようにする。
- 世界の問題を解決するために活躍している人（した人）の講演を聴き、世界でおこっている問題を知り、解決方法を考え、自分たちにできる国際貢献活動を行うことができるようにする。

### 【学習課題】

- 地域探求活動「自分達が生活したいと思う大牟田市になるための方法を提案しよう」
- 国際理解学習「世界でおこっている問題を知り、解決方法を考え、自分たちにできる国際貢献活動を行おう」

### 【地域探求学習の取組】

- ①大牟田市のよいところや課題を見つけるために、7月に5つのテーマでグループに分かれて地域探求活動を行った。



〔地域探求活動の様子〕

地域探求グループ	訪問場所	課題
世界遺産史跡、名所	・大牟田市役所・宮原抗跡 ・三川抗跡・万田抗 ・旧長崎税関三池支所	・観光客、リピーターをふやす ・世界遺産として管理するための維持費
環境・エネルギー	・カソーラ大牟田発電所 ・RDF発電・RDFセンター ・リサイクルプラザ	・平成35年以降RDF発電がなくなった後の大牟田のゴミを今後どうするのか
農業・漁業	・西山好房（農家） ・オギハラ食品 ・海苔生産漁業協同組合	・地産地消ができていない ・後継者問題
産業、まちづくり	・三井化学 ・信号電材株式会社 ・電気化学工業株式会社	・大牟田市に必要とされる産業や働く場所 ・人手不足 ・産業をいかした街づくり
伝統・文化	・四郎國光・いなだ豆 ・草木饅頭江口栄商店 ・大蛇山祭（諏訪神社）	・商品を広める方法 ・大蛇山祭り参加者の減少、祭りを広める方法



- ②各自が訪問場所の概要や抱える課題を冊子に全員分まとめ、発表会を行った。
- ③夏休みに課題の解決策の参考になる日本や世界の取組の事例調査を行った。
- ④課題解決策をまとめ、学年で発表会と解決策の検討を行った。

例えば、農業・漁業グループからの解決策は、「給食で大牟田でとれた野菜や果物を使ってもらう。」「大牟田の名産の高菜やミカンやのりを使ったメニューとして、高菜チャーハンやミカンゼリー、ミカンパン、ミカンのフルーツサラダ、ミカンジャム、ミカンクリーム、ミカンクレープ、有明のりを使った手巻き寿司などをつくる。」「大牟田の会社やお店とのコラボレーションし商品をつくる。」「ラーメンに有明のりのトッピング」「イオンやゆめタウンなどのショッピングモールに大牟田産のコーナーをつくる。試食などで魅力を知ってもらう。」などを提案した。

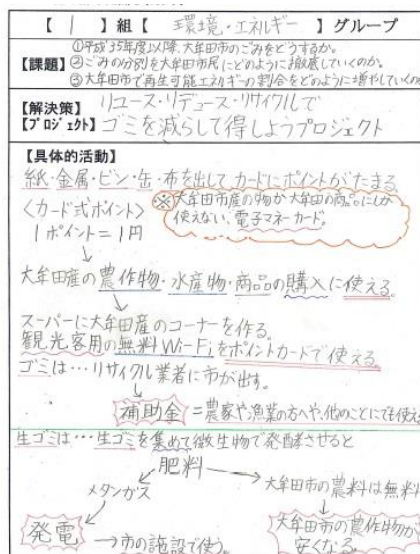
また、エネルギー・環境グループは、ゴミ焼却による二酸化炭素を出すのを減らすために、〔環境グループ解決策〕紙、ビニールなどの可燃ゴミのリサイクルを進めるために、分別して所定の場所に出すと重さに応じてカードにポイントがたまる大牟田電子マネーカードを作る。大牟田市のスーパーには大牟田産のコーナーをつくり、大牟田産の農産物・水産物・商品のみ購入に使えるようにし、大牟田産のものが売れるようにする。また、ゴミはリサイクル業者に出し、そのお金は農業・漁業の補助金として使う。また、生ゴミは、集めて微生物で発酵し、メタンガスと肥料にし、大牟田市の農家に無料で配布。メタンガスで発電を行い、電子マネーカードシステムの電源として使うことなどを提案した。

- ⑤ユネスコスクールの日市議会議員と世界遺産・文化財室の坂井義哉さんを招いてシンポジウム開いた。

シンポジウムでは、6グループが、自分たちが調べた大牟田のいいところ、課題、解決策、大阪・京都との比較を発表した。市議会議員や坂井さんからは、子どもの解決策案としてあげた「世界遺産維持費募金」に対しては、「維持のための募金ではなかなか集まりにくい。もっと自由に考えて夢のある取組を打ち上げて、それに対して募金をしてもらってはどうか。」と忌憚のない意見を頂いたり、〔シンポジウムの様子〕



いい解決策には、「これは少し修正すれば、実際に解決策として使えると思う。」など褒めて頂いたり、各グループに対して多くの率直な意見やアドバイスを頂いた。その発表会の様子が有明新報で紹介されたこともあり、大牟田市役所環境課から「環境・エネルギーグループ」の解決策を参考にしたいと本校を訪問された。そこで、「RDF発電授業終了後の大牟田市のごみ処理・ごみ問題」の解決策として提案した「電子マネーカードやアプリを利用したポイントシステムを導入したりリサイクルと地産地消を関連した推進案」を紹介した。



### 【地域探求学習の生徒の感想】

- 最初なぜこのようなことをするのだろうと思っていたけど、学習していく中で大牟田市の良いところや課題を発見することができて良かった。僕たちの解決策が議会で提案されたらうれしい。これからも講師の方の意見を参考に、大牟田市をよりよい場所にするために考えて行きたい。

### 【国際理解学習の取組】

国際理解学習では、大正小・中友小と協力して「難民キャンプに服をおくろプロジェクト」を行い、難民キャンプに1100着以上の子供服を送るとともに、難民キャンプで活動した九州共立大学講師の竹井清先生に講話をしていただき、国際的な視野を広げる活動を行った。



〔難民キャンプに送った服〕

### 【成果と課題】

- 自らの問題として探求活動や問題解決に主体的、創造的に取り組むことができた。
- 自分たちの住む大牟田市のよりよい未来づくりに主体的、継続的に参画する態度を養うことができた。
- 大牟田の良さと課題が見えやすい訪問先の選定と解決策の提案場所と方法を工夫すること、及び、調査のための予算面を考える必要がある。

## 三. 【第3学年】…「職場体験学習」「保育体験学習」

### 【目標】

- 地域で働く人々の姿に接し、模擬体験活動をすることで、働くことの厳しさや喜び、意義を感じ取ることができるようにする。
- 礼儀や誠実さとともに、忍耐力・勤労精神の大切さを学び、将来の自己実現に向けて、主体的・意欲的に進路選択をしようとする態度を育てる。
- 乳幼児を保護・育成しようとする態度を養いながら、これから求められる大人像について展望を持つことができるようにする。

### 【職場体験学習の取組】

働くことの喜びや厳しさ、その職業の社会的な役割を知り、職場体験学習を振り返ることで自分を見つめ直し、進路や将来の職業選択について考えた。



〔職場体験の様子〕



〔幼児体験学習の様子〕

### 【保育体験学習の取組】

幼児に年長者として積極的に関わりを持つ活動を行い、幼児の特性をもとに活動内容を工夫し、幼児に接する姿勢や心構え・関わり方を学んでいくことで、将来の自分の生き方や責任ある人間としての在り方を考えた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）